



# むつみ

はじめに、このたび能登地方を震源とする大規模地震により犠牲となられた方々に心よりお悔やみ申し上げるとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

先日、ブロック支部長会議が富山で行われました。来年度のブロック大会の下見を兼ねています。地震のあった石川県の支部長も出席されており、現地の生の声を聞くことが出来ました。幸い、会員さまは全員ご無事との事で、安心いたしました。今回の災害で一番困ったことは、安否確認の難しさだそうです。連絡先が家電である会員さまが多く、家が崩壊してしまっただけでは電話が繋がらないことはありません。現地に行ったり、たくさんの避難所を確認してまわることしかできなかったそうです。自分で声が出せない(助けを呼べない)子供たちは、助けてもらえません。何かいい方法を見つけていかないと話し合いました。もっと具体的に、細かく準備していかないといけないと再認識しました。みなさん、一緒に考えていきましょう。

数年前から、アジアパラリンピックの関係で、県、市の競技場やアクセス等の視察を行い、誰もが使いやすいものにと意見を聞いて頂いていました。今回のアジアパラ開催で、バリアフリー化がとても進んでいます。本当にうれしい事です。行政の方々に感謝です。みなさん、楽しみにして下さいね。

来年度の総会は、コロナ前に戻し、みなさんにお会いしたいと思います。会場もティンクルなごやにて開催いたします。みなさん、ぜひ参加して下さい。お待ちしております。

会長 高嶋みえ

## 来年度の行事のご案内

- ★守る会総会  
令和6年5月18日(土) 11時～  
会場：ティンクルなごや
- ★赤い羽根募金補助事業 メロン狩り  
令和6年7月7日(日) 田原市
- ★全国全国守る全国大会 記念大会(東京)  
令和6年9月28日(土)～29日(日)
- ★東海北陸ブロック大会 富山大会  
令和6年11月9日(土)～10日(日)

- ★訓練会  
令和6年 4月7日(日)・13日(土)  
5月12日(日)・25日(土)  
6月16日(日)  
7月13日(土)・21日(日)  
9月1日(日)・14日(土)
- 参加費：300円  
場所：むつみグリーンハウス(中区古渡町)  
予約：寺澤

メロン狩りの申込は  
総会后(5月18日)開始します!

申込：高嶋



愛知県重心守る会  
LINE公式アカウント  
是非、ご登録ください!



## R5.11.2 愛知県との懇談会が行われました

(愛知県心身障害児(者)福祉団体連絡協議会の一団体として参加)

### 懇談会に参加して

毎年行われている懇談会ですが、今年度も副知事様も参加して下さい、福祉課、質問先担当の方々に私たちの"今"を聞いていただきました。共に障害のある子どもたちの為にどうしたらいいのかを考えるととても貴重な時間となりました。

### 守る会より要望

入所施設での日中生活の向上について

入所施設は、生活の場であり、入院施設ではありません。たとえ、重い障害のある重心児者であっても、時間の流れを感じる生活をする権利があります。一日中ベッドの中での生活、食事もベッド上などは、生活の場では考えられません。一日の大半あるいはすべてをベッドで過ごしているという悲痛な声(主にこぼと棟)が会に届いております。

一日に数回は、ベッドから車いす等に降りて、生きている楽しみを感じさせてほしい。入所施設内での日中の過ごし方をもう少しメリハリのあるものにしてほしい。

以上のことが実現されますよう、施設内のレイアウトや、支援員の育成、支援員の増員を含めその仕組みについて検討してください。

### 県からの回答(現状・対応状況等について)

入所施設は基準で定められた設備を設置し、利用者に適切な支援ができるようレイアウトも含め、各施設において整えているものと思われまます。県としましては、施設のレイアウト等の変更の際には図面を確認し、基準に適しているかどうか審査を行っております。

また、サービス提供事業者等の経営安定化を図るとともに、人材の安定的確保ができるよう、人員配置基準や報酬額について必要な改善を図るよう国に要望しました。なお、こぼと棟では個々の利用者様のご希望や体調に合わせた活動を個別支援計画に反映し、色々な活動(経験)ができるように考えております。今年5月に新型コロナウィルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症へ移行されたことで、徐々に散歩や外気浴など病棟の外に出かけることも増えてまいりました。

また、病棟内においても日中活動イコールベッドから離れて活動することととらえるのではなく、ベッド上でのアロマセラピーやタッピングタッチ、本の読み聞かせ等、様々な病室での活動も行っております。利用者様によっては長時間の車いす乗車が困難になり、ベッド上の方がリラックスできる方もみえるようになりました。

療育向上のための委員会を設置しており、利用者の方々の日中の過ごし方を随時話し合いを行いながら、よりよい生活を目指してまいります。

## R6.1.11 豊田市に要望書を提出してきました！

懇談の場も設けて下さり、後日要望書に対しての回答も頂きました。

### 1. 短期入所について

- ・市内の既存の事業所を含め、受入れの現状について貴市で把握されている状況をご教示ください。
- ・さらに、生活介護と短期入所の併設事業所の整備及び運営への支援の仕組みの導入に向け検討を要望します。

### 【回答】

- ・市内短期入所事業所 24 か所の実利用者数は、R5:237 人(12 月末まで)、R4:228 人です。利用日数は、R5:7,071 日(12 月末まで)、R4:8,454 日です。
- ・支援の仕組みとしては、施設整備には「豊田市障がい者に関する社会福祉施設等整備費補助金」、施設運営には「豊田市民間障がい者施設等運営費補助金」を実施しています。

### 2. 生活介護等利用後の制度について

- ・誰もが使いやすい支援の検討を要望します。

**【回答】**

- ・母親の就労等を可能にするため、生活介護事業所の利用時間を18時頃までとしてほしいことや生活介護事業所利用後に移動支援を利用して18時頃までの支援を希望していることについて、事業所説明会等で各事業者に共有を図ります。

3. グループホームで重症心身障がい者が地域で暮らせるような制度づくりについて

- ・誰もが地域で暮らせるように、重症心身障がい者を受け入れることができるグループホームの整備及び運営に向けた支援の検討を要望いたします。

**【回答】**

- ・グループホームの整備及び運営には「豊田市障がい者グループホーム設置促進事業費補助金」重症心身障がい者等の受入れには「豊田市重症心身障がい者等のグループホーム受入促進補助金」を実施しています。

4. 多目的トイレ内のベッドについて

- (1)主要駅や大規模公共施設の多目的トイレ内のベッドをベビー用から誰もが利用できるユニバーサルベッド（介護用大型ベッド）に取り換えること
  - (2)民間施設においても設置が促進されるよう、助成金制度を創設すること
  - (3)ユニバーサルベッドが設置されていないトイレについては、最寄りのトイレに誘導する案内表示を設置すること
- ・また、現在市内の大型ベッドの設置状況をご教示ください。

**【回答】**

- (1)ユニバーサルベッドの有用性等について各所属へ周知することにより、取替えを推進します。
  - (2)助成金の創設は予定していませんが、障がい理解の啓発等を通じて民間施設へユニバーサルベッドの有用性等を周知することにより設置を推進します。
  - (3)各トイレに最寄りのユニバーサルベッドが設置されているトイレへ誘導する案内表示を設置することは予定していませんが、いただいたご意見を踏まえて、市 HP に公共施設におけるバリアフリートイレ一覧と各設備情報を新たに掲載し、各公共施設ページに掲載されている既存のバリアフリートイレ情報に介助用ベッド情報を追加することに取り組みます。
- ・市内の大型ベッドが設置されている施設について、市は調査していませんが、団体等による調査結果が公開(wheelog!)されています。

5. 人材確保と長期就業のための仕組みについて

- ・支援員が長く働き続けられる長期在職の特典や助成金等の創設をお願いします。

**【回答】**

- ・人材確保策としては、市が豊田市福祉事業団に運営を委託している福祉事業所において福祉系学校の実習生の受入れを実施しています。支援員の処遇については、市独自の取り組みは予定していませんが、中核市市長会等を通じて国へ働きかけていくことを検討します。

6. 重症心身障がい児者支援者の養成について

- ・重症心身障がい者の支援者を養成する事業の創設を要望します。

**【回答】**

- ・重症心身障がい者の支援者を養成する事業として、市が豊田市福祉事業団に運営を委託している福祉事業所において、福祉系学校の実習生の受入れや強度行動障害支援者養成研修、喀痰吸引(第3号)研修を実施しています。

7. 災害時避難場所の確保について

- ・一般の避難所であっても数日間は生活できるような最低限の対応(多目的トイレ、電源設備等の設置等)ができる整備をお願いします。

**【回答】**

- ・一般の避難所となる一部の施設には、既設の設備として多目的トイレがあります。また、一般の避難所で生活が困難な方が利用できる福祉避難所には、保健師の配置や非常用バッテリーの整備がされています。

# 随筆リレー



『20歳を迎えて』

山本 恵子・雄大

妊娠6ヶ月で水頭症と診断され、誕生翌日にVPシャント術。産まれる前からたくさんの困難が予想され、私たち夫婦は「今できることを」と病気についていろいろ調べ、少しでも前向きに我が子を受け入れようと必死でした。

通院、リハビリ、療育園への母子通園、支援学校、放デイ、そして今は生活介護。

たくさんの人たちに出逢い、支えられ、雄大はとても心豊かな成人となりました。

これからも、たくさんの人との出逢いや関わりを大切に、笑顔や笑い声いっぱいの人生を送ってほしいなあと思っています。



## 愛知県地域活動振興事業



～いちご狩り～  
季節を感じたよ！



楽しかったいちご狩り

長谷川 百合江・翔大

「日曜日にいちご狩りへ行くよ」と伝えた日から、息子はいちごの絵などを見るたびに、「いちご狩り、いちご狩り」と、とても楽しみにしていました。当日は天気も良く、いちご狩り日和でティンクルから皆と「いちごの里」へ向かう車中もニコニコでした。

いちごはとても大きく、甘く、とてもおいしくて次から次へと口の中に入れていきました。「まだ食べるの？」という位バクバク食べ、この後の昼食は食べられるかしらと思うほどでした。しかし、そんな心配は無用だったようで、「ノアノア」でのランチもほぼ完食！！息子もとても満足した様子でした。

こんな楽しい一日が過ごせたのも、スタッフやボランティアさんたちがいろいろと助けてくれたおかげです。本当にありがとうございました。

